

# 市川百条委「疑念払拭に至らず」

## 市議の切手大量購入問題で調査報告

市川市議が政務活動費を使って切手を大量購入した問題で調査する市議会特別委員会（百条委員会）は26日、本会議で調査報告を行い、市議側が切手の用途と説明していた市民アンケートについて「実施した痕跡は証言や証拠などでは確認できなかった」とした。

でも「委員の疑念を払拭するには至らなかった」とした。しかしながら「実施していない」と断言することは困難ともしている。

小泉市議は「政務活動費を流用した疑いがあるかのように指摘されていることは残念だ。とはいえ多大な迷惑をかけた。今後、このような問題で市政の停滞を生じさせないようにする」とコメントした。

計士による外部監査で23、25年度に各会派に支出された切手購入費などを調査した結果、約2千万円の不適切支出が判明し、各会派が自主返納していた。

市議会は昨年6月、百条委の設置を決議し、小泉市議らを証人尋問するなど調査を進めてきた。

報告書によると、調査対象の小泉又人市議が所属する会派が平成25年度などに実施したとされるアンケートについて、「本当に実施されたとは到底考えることができない」といった心証を形成した委員が多いと指摘。小泉市議の説明に対し

この問題は26年の住民監査請求の結果、25年度に3会派が切手代として計約270万円を政務活動費から支出していたことが判明したことが発端。市も公認会